

# 総合基本計画審議会（第1回）議事録

<p>1 日時 令和5年8月1日（火） 13:00～14:30</p> <p>2 場所 本庁 大会議室</p> <p>3 出席状況 唐津市総合基本計画審議会委員 29名（※2名欠席） 事務局：政策部（市政戦略課） 濱口部長、藤田副部長、森課長、通山係長、古賀主査</p>	<p><b>【第1回 審議会】</b></p>
<p>議 事 内 容</p>	
<p>1 開会</p> <p>2 唐津市総合基本計画審議会委員の委嘱 市長から代表者1名（石山委員）に委嘱状を渡す。</p> <p>3 市長あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 少子高齢化など、急激な社会変化に対応できる健全な行政組織、持続可能な社会を作りたい。そのために唐津市が何を基本方針として、どのような施策を実施するのか、それを指し示すのが総合計画である。</li> <li>○ 過去の総合計画策定時には素案ができた段階で審議会に諮問していたが、新第3次総合計画については、素案の策定段階から審議会に諮問するように変更した。より理想の計画をつくるため素案策定段階から皆様の忌憚なき意見を頂戴したい。</li> <li>○ また、市民アンケートなどを通じて、市民の意見も反映し、唐津市民の幸福を目指せるような総合計画としたい。</li> </ul> <p>4 会長及び副会長の選出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 会長及び副会長の選出については事務局に一任する。（賛成多数） 事務局から提案 <ul style="list-style-type: none"> <li>・会長→宮島清一委員（唐津商工会議所 会頭）</li> <li>・副会長→鈴木崇弘委員（九州大学大学院法学研究院 准教授）</li> </ul> </li> <li>● 異議なし</li> </ul> <p>5 諮問 市長より審議会に対し諮問</p> <p>6 議題</p> <p>(1) 第3次唐津市総合計画策定における基本方針と体制について 事務局より説明</p> <p>(2) スケジュールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア まち・ひと・しごと創生総合戦略の統合について</li> <li>イ 論点データ集骨子（案）について 事務局より説明</li> </ul>	<p>市長</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>● 基本構想のあるべき姿とは抽象的なものになるのか。</li> <li>○ 市の将来的な理想のイメージ像になるので、言葉としては抽象的なものとなる。</li> <li>● 基本計画の役割はなにか。</li> <li>○ 基本計画の中で、基本構想を実現するために必要な目標や施策を体系的に整理している。</li> </ul>	<p>宮島会長 森課長 宮島会長 森課長</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 11月までに基本計画の素案が策定されて、第2回の審議会で示されるのか。</li> <li>○ 今年度は基本構想の骨子案まで作成予定であり、第3回審議会が実施される2月で骨子案を示したい。審議会からの意見聴取後、パブリックコメントで意見をもらうという流れを予定している。第2回審議会では11月時点でとりまとめている論点データ集をお示しできると思うので、それに対して意見を頂戴したいと考えている。</li> </ul>	<p>宮島会長 森課長</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 資料内に「第3次総合計画」「第2次総合計画」「現総合計画」という言葉があるが、どれが今取り組んでいるもので、どれが以前のものなのか分からない。</li> <li>○ 第3次総合計画が今回策定しているもので、第2次総合計画と現総合計画は同義である。</li> </ul>	<p>今村委員 森課長</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市民アンケートについて、3,000人の算定根拠を教えてください。</li> <li>○ 人口11万人に対して、約1,000人回答があれば、十分なエビデンスとなる見込み。また、アンケートの回収率は約30%を見込んでいるため、逆算してアンケート対象数を3,000人と設定した。</li> </ul>	<p>溝田委員 森課長</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● インターネットアンケートの周知、投票にいたるまでの案内の仕方は。また、3,000人に含まれるのか。</li> <li>○ 市の広報物やLINEを使って案内をかける予定。市民アンケートの3,000人には含まれていない。インターネットアンケートは唐津市在住の人以外でも回答可能で、幅広く、多くの人に回答してもらいたいと考えている。</li> </ul>	<p>溝田委員 森課長</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● スケジュール上では若手研究会の開催が8月のみとなっており、頻度が少ないように感じるが、なにか理由はあるのか。</li> </ul>	<p>溝田委員</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 若手研究会の若手の対象は誰になるのか。総合計画は未来の若者にもしっかりと意見をもらい策定するべきだと考える。</li> <li>○ 若手研究会は8月に1回ではなく、数回は集中して開催する予定。市職員の若手職員で実施する。参加対象の年代は、係長になる前の30代～40代。今後の開催回数の増については、意見を踏まえた上で、検討したい。</li> </ul>	<p>大藪委員 森課長</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市民座談会のワークショップについて、会場や回数は決まっているか。</li> <li>○ 各市民センターで、地区ごとに開催することを検討している</li> <li>● 各団体から出ている要望書などを総合計画に反映されるか。</li> <li>○ 専門部会、策定幹事会、策定委員会など、全庁連携して策定する体制を取っており、各課で意見を拾い上げることは可能だと考える。事務局としても意見を拾うことには尽力する。</li> </ul>	<p>谷口委員 森課長 岩本委員 森課長</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 第2次総合計画をまとめたデータが欲しかった。事務局の説明で、これからやろうとしていることはよく分かったが、これまでの経緯をまとめたものが欲しいと感じた。</li> <li>○ 第2次総合計画のデータ又は印刷したものを、郵送等で対応させていただければと思う。また、第3次総合計画の序論の中では、第2次総合計画の振り返り・検証を記載予定。今後の審議会で、第2次総合計画の振り返りをお示しするので、その際は意見を頂戴したい。</li> </ul>	<p>山田委員 森課長</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● これまでの経緯は早めに共有していただきたい。また、第2次総合計画の振り返りについても早めに共有していただきたい。</li> </ul>	<p>宮島会長</p>

<p>(3) 市民アンケート実施方針について 事務局より説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● アンケートでキャッチコピーを決めるプロセスを教えて欲しい。</li> <li>○ 庁内でキャッチコピー案を決める。その後、審議会からも意見をもらう予定</li> <li>● 市民のアイデアを参画させることは。</li> <li>○ スケジュール的にも難しく、今のところ検討はしていない。</li> <li>● キャッチコピーはそもそも必要か。まちの将来は複雑なもの。コマーシャルのように一言で表すのは難しいと思う。</li> <li>○ 行政と市民が将来的に目指すまちの方向性を示すためにも、抽象的なものにはなるだろうが、キャッチコピーは必要だと考えている。</li> <li>● 論点データ集が完成してから市民アンケートを取るほうが、市民も現状を知った上で の回答となるため、良い回答が集まるのではないか</li> <li>○ 論点データ集の全項目は難しいが、早めに示せるものもあると考えるため、市民アンケートに反映できるかどうかは今後検討していく。</li> <li>● アンケートの抽出は無作為抽出だけでなく、PTAなど団体ごとにアンケートを取る ことも効果的ではないか。</li> <li>○ 市内で活動する団体のアンケートは実施する予定である。</li> <li>● 市民アンケートの結果の反映の仕方は</li> <li>○ 序論に記載する。結果を踏まえた上で、基本計画の策定を進めていく予定</li> </ul> <p>(4) 職員による次の10年で行う取組みアンケート（各部提案の検討）取りまとめ状況について 事務局より報告</p> <p>7 閉会</p>	<p>堤委員 森課長 堤委員 森課長 宮島会長  森課長  鈴木副会長  森課長  中山委員  森課長 今村委員 森課長</p>
---	--